

## 令和5年度 救急・救命講習会開催報告

総務財経委員会

一般社団法人関西地質調査業協会では、労働安全衛生事業の一環として、隔年ごとに「救急・救命講習会」と「労働安全衛生講習会」を開催していましたが、新型コロナウイルス感染の影響でここしばらく休会となっておりました。今年は、その影響も薄らぎ6月20日(火)、21日(水)の両日に5年ぶりの「救急・救命講習会」を開催する事が出来ました。

開催期日： 令和5年6月20日(火)、21日(水)

時 間： 13:30~16:30

場 所： 大阪市西消防署 2階講堂

担当講師： 大阪市西消防署職員 4名

講習内容： ・救急救命の基本講習  
・胸骨圧迫及びAED実習 等

参加者： 20日24名、21日26名 計50名



写真-1 6/20 講習会冒頭風景



写真-2 6/21 講習会冒頭風景

講習会は、大阪市西消防署の職員の方々に指導頂きながら、救急・救命に関する基礎的な講義を受けた後、グループに分かれて人体模型を使って実演習を交えた講習会でした。実演習では、先ず周囲の安全を確認したうえで急傷病者に近づき 1) 呼びかけて反応確認、2) 119番とAEDの手配、3)呼吸を確認、4)胸骨圧迫、5) AEDによる電気ショック等を行う緊急時の手順について講習が行われました。実習中の講師のお話で「一刻を争う救命措置ですので、皆さんの勇気ある行動が尊い命を救うことになります。自信をもって救命措置を施して下さい。また日頃から身の回りのAED設置場所を知っておくことも重要です」との言葉が印象に残りました。突如発生する急傷病者に対し、あわてること無く救命措置を施す心構えが備わった有意義な講習会でした。これまでに受講した内容と基本的には変わりはありませんが、心肺蘇生に重点が置かれ非常に修得しやすい講習内容になっておりますので、ひとりでも多くの協会の皆様に救急・救命講習会の受講をお勧めします。



写真-3 消防署職員による模範演習(6/20)



写真-7 指導を受けながら行われた実技演習(6/21)



写真-4 グループに分かれて行った実技演習(6/20)



写真-8 グループに分かれて行った実技演習(6/21)



写真-5 胸骨圧迫による救命措置風景(6/20)



写真-9 複数で協力して行う救命措置風景(6/21)



写真-6 全員参加の実技演習風景(6/20)



写真-10 全員参加の実技演習風景(6/21)